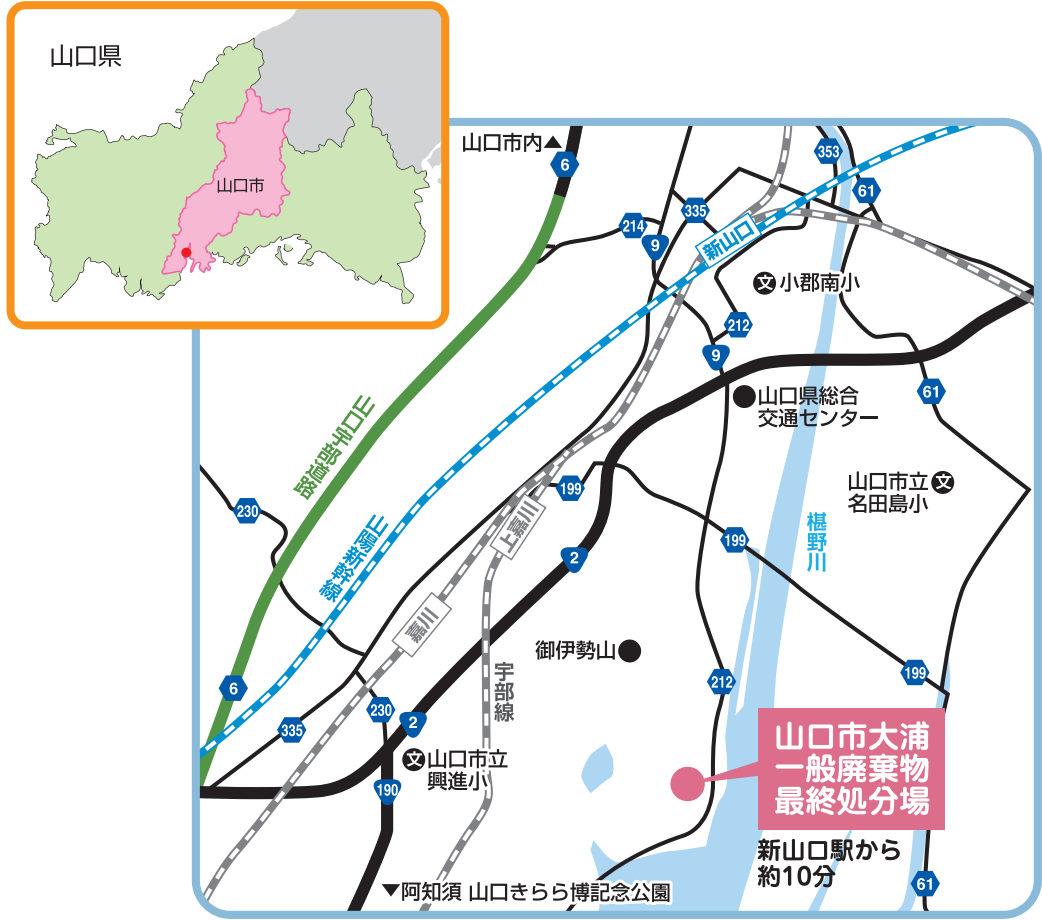


位置図



山口市大浦一般廃棄物最終処分場

〒754-0896 山口市江崎 1279 番地 2
TEL 083-988-2355

設計・施工監理

日本水工設計株式会社

施工業者

- 土木造成工事
熊谷組・長田組・徳林工業特定建設工事共同企業体
- 被覆施設
本体工事
大和建设株式会社
機械設備工事
株式会社岡部
電気設備工事
有限会社福栄電機工
- 舗装工事
石山建設株式会社
- 浸出水処理施設
日立造船株式会社
- 外構工事
山交安全株式会社
- 植栽工事
有限会社岡部造園

山口市大浦一般廃棄物 最終処分場



山口市



山口市長
渡辺 純忠

ごあいさつ

山口市はみどり豊かな森林や、清らかな川の流れ、雄大な海、澄んだ空など、豊かで多彩な自然環境を有しています。この美しい自然と調和し、環境への負荷が少ない、持続的発展が可能な社会を築いていくためには、私たちの文化的で快適な暮らしと切り離すことができないごみの適正処理のしくみを確立し、守っていく必要があります。

この度完成した大浦一般廃棄物最終処分場は、不燃物中間処理センターでの破碎・選別といった中間処理により、不燃ごみに含まれる資源物を回収した後に残る「残さ」のみを搬入し埋立処分する施設で、周囲の景観と調和し、風雨や動物等の影響を受けないよう、埋立地を外壁・屋根で覆った、市内初のクローズド型一般廃棄物最終処分場です。幾重にも漏水対策を施し、放流水質を常時監視するなど、安全面、環境面にも万全を期しています。

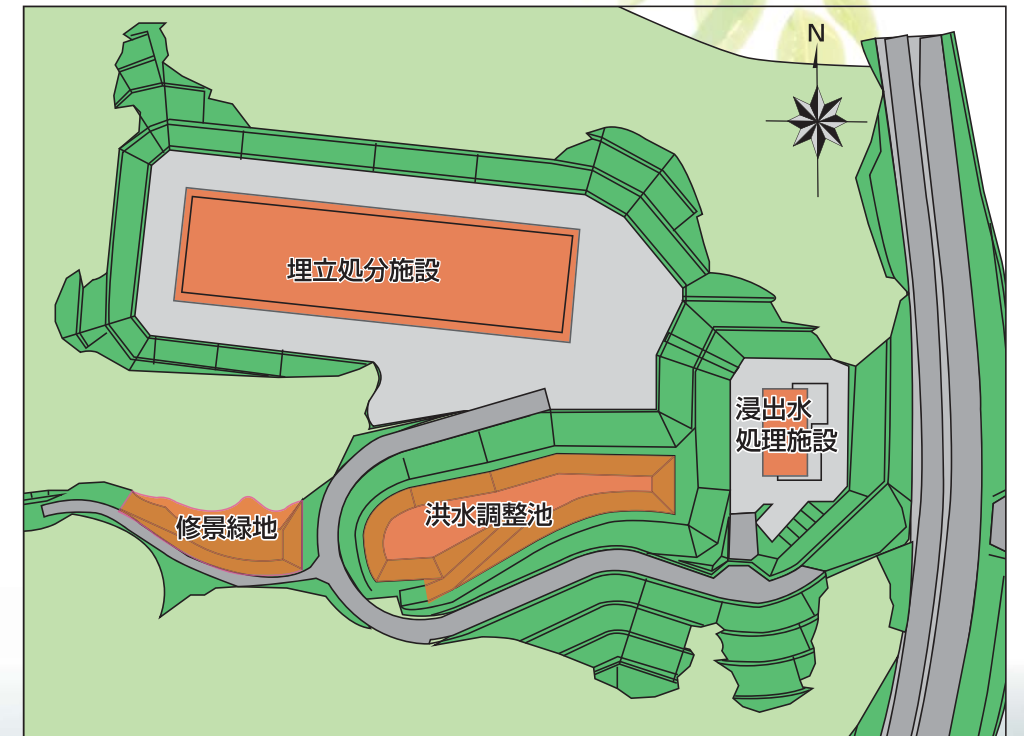
今後は、施設の安定的な運用管理はもとより、市民の皆様のごみの減量や分別・資源化への関心を高め、実践していただきますよう継続的な啓発活動に努めてまいります。

終わりに、本施設の建設に当たり、多大な御理解と御協力を賜りました地元の皆様をはじめ関係各位に対して心から感謝申し上げます。

平成29年3月

施設の概要

- 施設名称：山口市大浦一般廃棄物最終処分場
- 敷地面積：約91,000㎡
- 埋立容量：約28,000㎡
- 埋立面積：3,600㎡
- 埋立物：不燃物残さ
- 埋立期間：平成29年(2017年)4月～平成44年(2032年)3月
- 着工：平成26年(2014年)9月
- 竣工：平成29年(2017年)3月



最終処分場の役割

山口市で発生したごみのうち、破碎された燃やせないごみ（不燃物残さ）のみを埋立処分する施設です。

山口市で発生した粗大ごみや燃やせないごみは、不燃物中間処理センターに集められ、破碎・選別されます。破碎されたごみのうちアルミや鉄といった資源物は、リサイクル工場に運ばれて再生利用されます。また、燃やせるごみは、清掃工場に運ばれて焼却処分されます。最終処分場に埋め立てられるのは、資源物や燃やせるごみ、危険物などを取り除いて破碎した、燃えないごみのチップです。

この最終処分場は、処分場全体が屋根で覆われた「クローズド型処分場」です。最終処分場に埋め立てられたごみを、計画的な散水と覆土（土で覆う作業）を行いながら、安定させていきます。

散水された水は、ごみを洗い出して浸み出します。浸み出してきた浸出水は浸出水集排水管によって集められ、浸出水処理施設で適正に処理した後、河川に放流します。

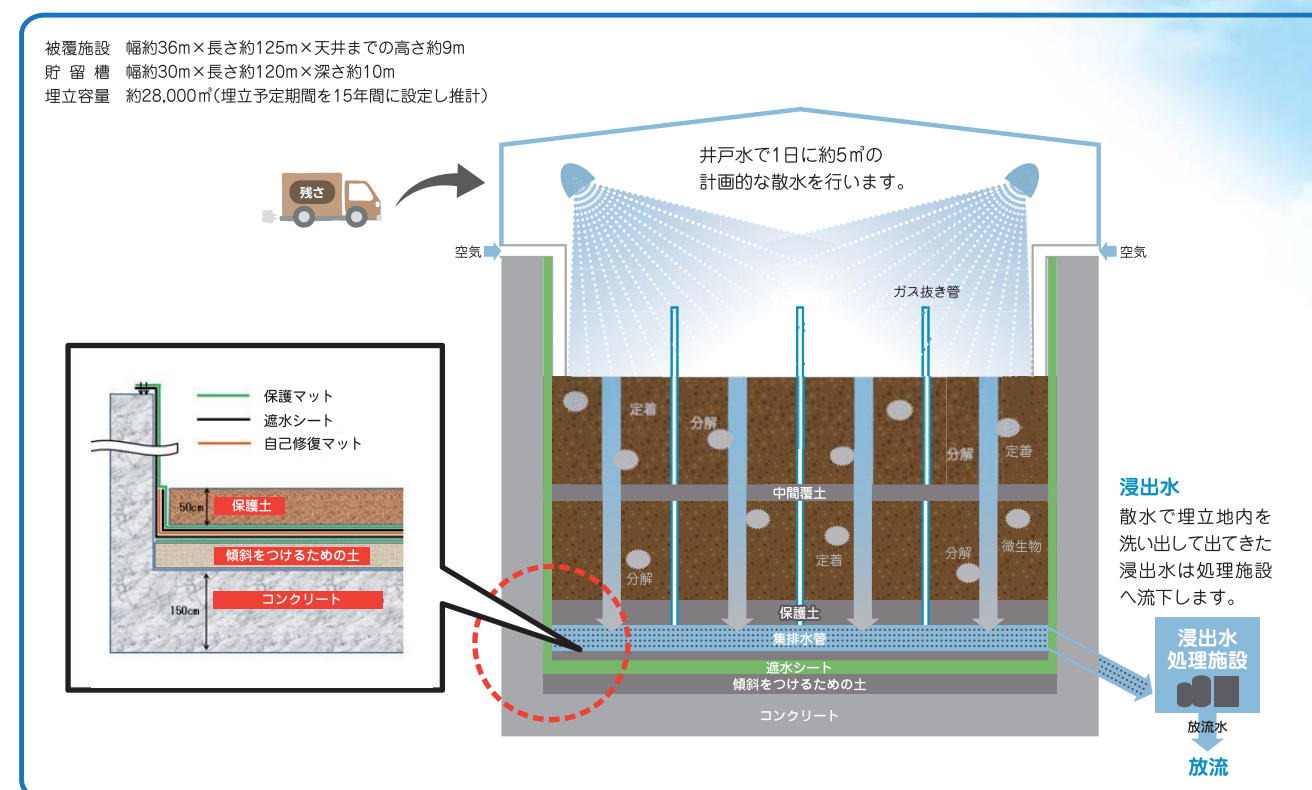


埋立処分施設の構造

クローズド型処分場であり、コンクリートで出来た埋立地（貯留槽）を壁と屋根（被覆施設）で囲っています。イメージとしては、屋内プールのような構造です。

井戸水を散水し、生物による分解や洗い出しを進めることで、埋立物を安定化させていきます。

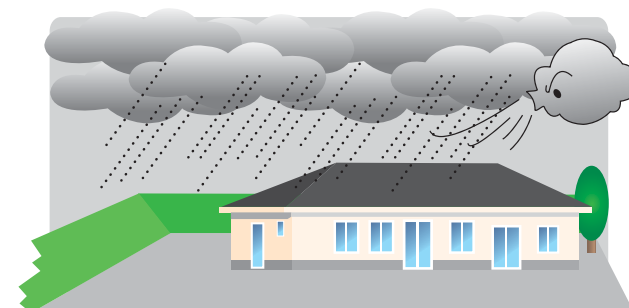
埋立地のコンクリートは、底が150cm、壁が110cmの厚みがあり、散水した水が地下に浸透しないように、内側全面に遮水工を施しています。底の遮水工は、2重の遮水シートの間に、傷がついたら水を吸って膨らむ「自己修復マット」を採用しており、浸み出た水は、浸出水集排水管へ集められる構造となっています。



クローズド型処分場の特徴

従来の処分場と同じ機能を持ちながら、よりきめ細やかな対応・制御ができる施設です。

- 1 風雨などの自然現象に影響されない、管理しやすい施設です。
- 2 埋立物の飛散や鳥の飛来を防止できる施設です。
- 3 ごみのおいや作業音が広がりにくい、周囲に配慮した施設です。
- 4 周辺環境と景観の調和ができるクリーンな施設です。



浸出水処理施設

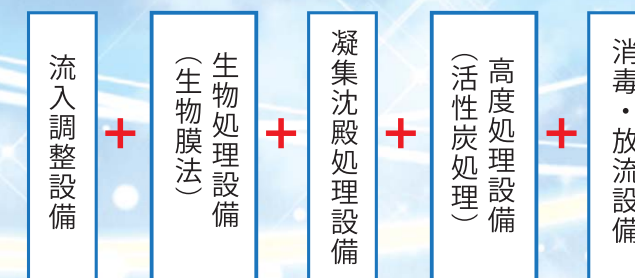


埋立処分施設

浸出水

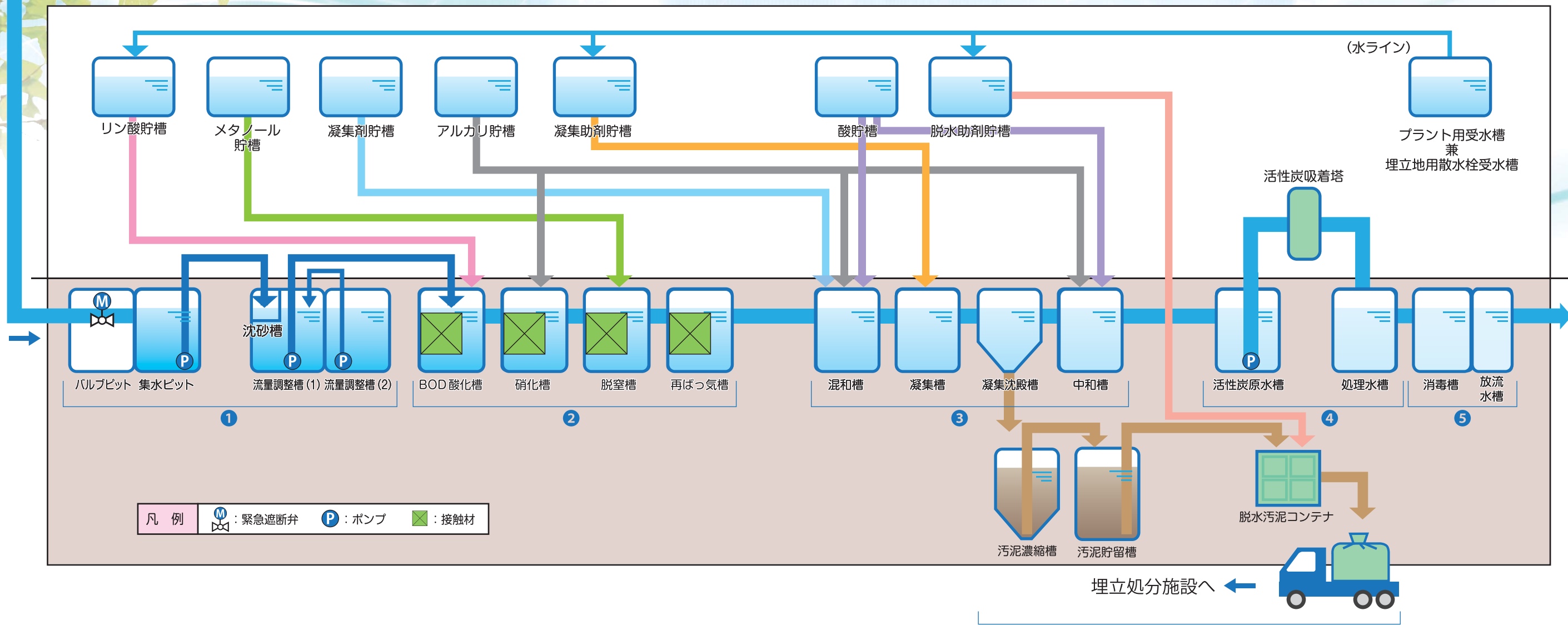
概要

- 処理能力：5 m³/日
- 処理方式：汚水処理方式



放流水質

項目	排水基準値
pH (水素イオン濃度)	5.8~8.6
BOD (生物化学的酸素要求量)	20mg/L 以下
COD (化学的酸素要求量)	90mg/L 以下
SS (浮遊物質)	30mg/L 以下
窒素含有量	120mg/L 以下
磷含有量	16mg/L 以下
ダイオキシン類	10pg-TEQ/L 以下



凡例 M: 緊急遮断弁 P: ポンプ X: 接触材

- 1 流入調整設備** 埋立処分施設から流入した浸出水を流量調整槽に貯留し、水質の均一化を図ります。
- 2 生物処理設備** 接触材の表面に付着した微生物の働きにより、浸出水中のBOD・COD・窒素などを分解・低減します。
- 3 凝集沈殿処理設備** 凝集剤・凝集助剤といった薬品を注入し、浸出水中の浮遊物質やCODを凝集・分離します。

- 4 高度処理設備** 浸出水に残っているCOD・微細な浮遊物質・色度を、活性炭吸着塔により除去します。
- 5 消毒・放流設備** 活性炭処理水を塩素にて消毒し、放流します。
- 6 汚泥処理設備** 凝集沈殿処理設備にて分離した汚泥を更に濃縮後、脱水します。脱水した汚泥は埋立処分施設へ搬出し、埋立処分します。